



2018年9月号の発行予定は9月11日(火)
掲載情報の切替は9月3日(月)です。

「連」は、毎月1,500部発行し、市内の公民館や地域センター、元気村、福祉会館、社協ボランティアセンター、市役所、各種メディア、当NPO法人の会員、その月の情報掲載団体、過去の関係団体・個人などに配布しています。



掲載に関する問合せ FAX 042-323-5450 (藤原) E-mail: info@kodaira-shimnet.jp http://kodaira-shimnet.jp/

みんなでかつぐ だいらのこれからの みんなかつどう
みこしプロジェクト第5弾



人生100年時代を「豊かに生きる知恵」

少子高齢化の進行とともに地域社会のあり方と人々の生活意識が大きく変わりつつあり、人々の絆が重視されてきています。今年のみこしは持続可能な地域社会への課題として「社会参加」を取り上げました。

基調講演 「人生100年時代を豊かに生きる為の3つのヒント」

講師：澤岡 詩野さん (ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員、老年社会学、都市社会学の研究者、工学博士、2歳児の母)

高齢期は仕事や家庭生活で築いてきた社会との接点が縮小していく時期。縮小していった先に待っているのは孤立化で、この状況は肥満や喫煙よりも心身の健康状態に深刻な影響を持つことが知られている。30年とも言われる高齢期の時間を見据え、社会とどのような接点を創り上げていけばよいのか。皆様と考えていきます。

《3つのキーワード》

- ゆるやか：仕事や子育てというしほりから離れた時、無理なく繋がれる距離間やかかわり方。
- プロダクティブ：仕事や子育てがひと段落した時に、新たな力を活かせる場や活動の仕方。
- 最後まで：30年先を見越しての生活設計の中、最後まで社会との接点を持ち続ける為に必要な備え

講演 「タテ型からヨコ型・シェア型・参加型へ ライフシフト」

講師：古屋 嘉祥さん (シニアライフコーディネーター、ジャーナリスト)

「タテ型」ピラミッド社会に染まり人生を歩んできた60~80代の人たちが100歳になる頃は「タテ型社会」はなくなり、「ヨコ型社会」になっている。しかも支えてくれる若い人たちは完全に「ヨコ型・シェア型・参加型」の人たち。100歳まで生きるという平均寿命の話ではなく、いかに健康で有意義な人生を全うするかという視点から事例を交えてお話を伺います。

「おしゃべりティータイム」 (参加者のフリートーク)

9月8日(土) 13:30~16:15 (13:00受付開始) 定員80名 無料
小平市社会福祉会館 4階 小ホール

主催：NPO 法人小平市民活動ネットワーク 後援：小平市 協賛：有楽製菓株式会社
企画・運営：みこしプロジェクト第5弾実行委員会 (事務局：042-478-8150 江口)